

U.S. Indicators

米国 市場予想を下振れも改善の動き(15年4月ISM製造業景気指数)

発表日：2015年5月1日(金)

～雇用、在庫が悪化した一方で、生産、新規受注は改善～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
14/04	55.3	56.2	57.1	54.7	53.0	55.4	55.5	56.5	57.0	58.0
14/05	55.6	58.7	59.0	53.5	53.0	53.6	52.5	60.0	56.5	54.5
14/06	55.7	59.1	59.9	53.9	53.0	52.7	48.0	58.0	54.5	57.0
14/07	56.4	62.0	60.9	56.3	48.5	54.3	49.5	59.5	53.0	52.0
14/08	58.1	63.9	63.1	57.4	52.0	54.2	52.5	58.0	55.0	56.0
14/09	56.1	59.4	62.4	54.6	51.5	52.6	47.0	59.5	53.5	53.0
14/10	57.9	63.0	62.8	55.2	52.5	56.1	53.0	53.5	51.5	54.5
14/11	57.6	62.1	62.6	54.6	51.5	57.0	55.0	44.5	55.0	56.0
14/12	55.1	57.8	57.7	56.0	45.5	58.6	52.5	38.5	52.0	55.0
15/01	53.5	52.9	56.5	54.1	51.0	52.9	46.0	35.0	49.5	55.0
15/02	52.9	52.5	53.7	51.4	52.5	54.3	51.5	35.0	48.5	54.0
15/03	51.5	51.8	53.8	50.0	51.5	50.5	49.5	39.0	47.5	52.5
15/04	51.5	53.5	56.0	48.3	49.5	50.1	49.5	40.5	51.5	54.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

ISM製造業景気指数 は51.5と前月比変わらず

15年4月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、51.5と前月比変わらずとなり、市場予想を下ぶれた(市場予想中央値52.0、当社予想51.5)。米西海岸での港湾ストや、ドル高の影響を受けた。

構成項目では、雇用、在庫、入荷遅延が低下したが、生産、新規受注が上昇した。総合指数への構成項目別の寄与度をみると、在庫(前月比▲0.40%ポイント)、雇用(前月比▲0.34%ポイント)、入荷遅延(前月比▲0.08%ポイント)が押し下げ寄与となった一方、生産(前月比+0.44%ポイント)、新規受注(前月比+0.34%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比変わらずとなった。

4月のISM統計では、西海岸での港湾ストやドル高等の影響を受けたコンピューター・電子機器産業などが全体の足を引っ張った。もともと、新規受注、生産が前月よりも上昇したほか、拡大を示す業種が全18業種中15業種と増加し、縮小した業種は2業種に減少するなど、3月よりも内容は良くなっており、製造業の活動は回復し始めていると判断される。

活動の拡大した業種は 15業種に増加

活動の拡大した業種数は、全18業種中15業種(前月10業種)と前月から増加した一方で、縮小した業種は2業種(前月7業種)に減少した。また、2ヵ月連続で減少した業種は1業種にとどまっている。

拡大した業種(拡大を続けた業種には下線)は、非鉄、プラスチック・ゴム、木材製品、印刷・同関連支援、家具・同関連製品、加工金属、食品・飲料・タバコ、紙製品、

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

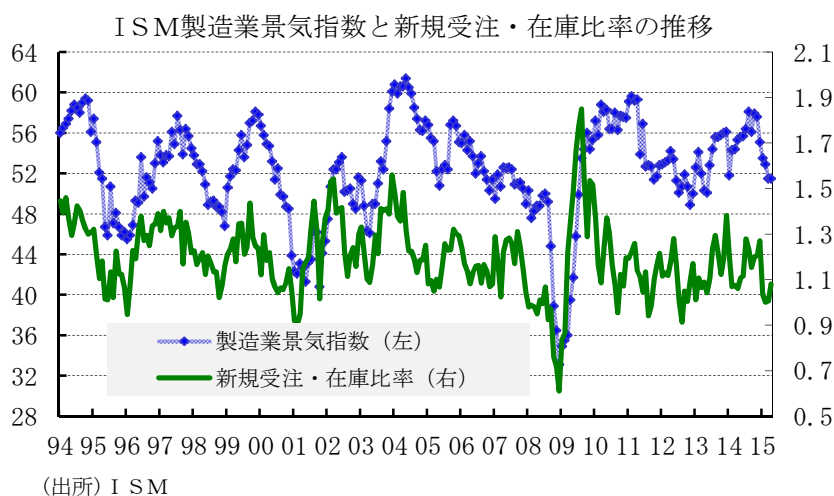
その他製造業、一般機械、輸送機械、繊維、電気装置・同機器・同部品、化学製品、二次金属。

一方、縮小した業種は、アパレル・皮革・同製品、コンピューター・電子機器と2業種（前月7業種）に減少した。石油・石炭は変わらずとなった。

（注）下線は拡大を続けた業種

港湾ストの終了、海外需要の回復等により、今後のISM製造業景気指数は製造業部門の堅調さを示す水準に上昇する見込み

今後に関しては、港湾ストの終了により悪影響が徐々に解消していくほか、各国の需要が金融緩和や原油価格下落、通貨安の効果によって強まると予想され、米製造業を支える要因となろう。また、個人消費を中心に緩やかな成長を維持する米国内需要などに下支えされ、ISM製造業景気指数は製造業部門の堅調さを示す水準に再び上昇する公算が大きい。ただし、ドル高やエネルギー価格下落の影響の残存が、活動を抑制する要因となろう。



輸出の回復を示唆

4月の輸出受注DIは、51.5と前月比+4.0%ポイント上昇し拡大縮小の分岐点である50を4ヵ月ぶりに上回った。世界景気の緩やかな拡大のほか、西海岸での港湾ストの悪影響の縮小等を背景に、前月比での輸出増加が示唆された。ただし、世界的な製造業活動の拡大モメンタムが弱いうえ、ドル高が続いており、輸出の伸びは前年比で抑制されると見込まれる。

各国の米国向け輸出は堅調維持で米貿易赤字拡大を示唆

一方、輸入DIは、4月に54.0と前月比+1.5%ポイント上昇し、50を上回っている。輸入は米国内需要の拡大持続やドル高を背景に増加傾向を維持していることを示している。これは、先進国、新興国の米国向け輸出の増加を示唆しており、世界経済の拡大モメンタムを下支えするとみられる。しかし、米国からの輸出の弱さと併せて、米国の貿易収支を悪化させ、成長率に下方圧力を加えることになる。

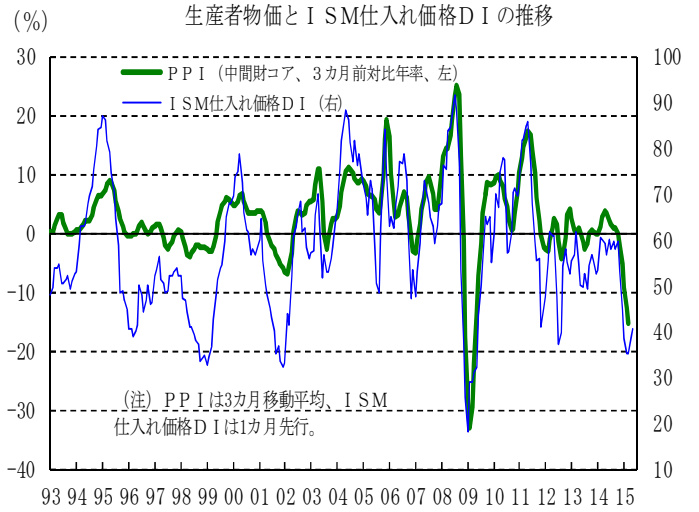
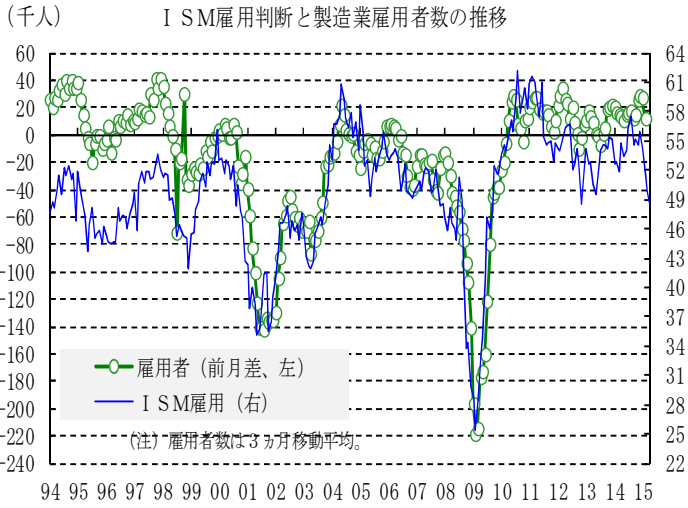
雇用DIは製造業雇用の減少を示唆

雇用DIは、4月に48.3と前月比▲1.7%ポイントと大幅に低下した。製造業部門雇用者数（3ヵ月移動平均）が減少することを示唆している。激しい価格競争によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続く見込み。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

仕入価格DIは川中で製品価格の下落を示す

仕入価格DIは、WTIの上昇などによって、4月に40.5と前月比0.5%ポイント上昇したが、50を大幅に下回っている。インフレ統計との関係でみると、川中で製品価格の下落幅の拡大に歯止めがかかるもののマイナス圏で推移することを示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。